

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 4期連続トップ当選

<編集発行>

〒194-0011 町田市

成瀬が丘 1-14-12

サンホワイト E103-13

自宅 042-795-7361(fax 兼用)

市議会議員 吉田つとむ

yoshidaben@gmail.com



議会運営が混乱しかけた顛末、議運委員長報告の訂正で決着

議会の自律性判断と行政の介入を認めない対応

第3定例議会の議員発言の謝罪対応に関して市長から新たな要求が行われていましたが、戸塚議会運営委員長が、「地方自治法 第129条に基づき、議事録より削除いたしますことを報告いたしました。その発言部分について、発言取り消し命令の措置を取り、議事録より削除いたしますに訂正いたします」と第4定例議会の冒頭報告の中で発言しました。議会審議の基本で、第3定例議会は全ての日程を終えており、会期中に市長自身による議員の謝罪対応を求める発言はなく、終結していました。

無所属会派では、新井議員が議会運営の委員をしており、「議長がすでに（第3定例会の審議を終えるまでに）判断を下した事案であり、執行機関から議員が新たな対応を求められることや、さらに議長が（前議会の議事結果判断を覆す）発言することはない」という趣旨の説明を、詳細文書として議員全員に事前公開添付して議会運営委員会の場で配布しました。その最終決着が上記の議運委員長の「」内の報告内容でした。もし、第4定例会で、議長が第3定例会の議事に関して自分の市長要求による見解を述べる発言をしておれば、私を含めた議員による議長への質疑が集中する状況にありました。そのため一般の議案審議がストップしかねず、議運委員長判断が賢明であったと言えます。



吉田つとむの議長時代の写真

地域センターまつりの開催状況について

一般質問のテーマに各地域センターまつりを取り上げる

コロナ期には開催が難しかった各地域におけるセンターまつりの開催状況を尋ねました。そのこともあって、市内5か所のセンターまつり（コミュニティセンターまつりを含む）のまつりを見て回ると、確かに各所で復活を見せていました。それが盛況と言えるかと言うと、疑問の点もありました。それは、客席動員数に現れている例がありましたが、いわゆる芸達者による舞台発表が減少し、新たな演目に転換が行われ、移行がどのように進展しているかに注目しました。



つくし野では、次々とエレキバンドが登場

例えば、野外で開催されるものですが、「よさこいソーラン」は、発祥地札幌市の「YOSAKOI ソーラン祭り」に限らず、町田市でも盛大に行われており、世代を超えた参加者と観客動員数を示しています。あるいは、ダンス（特に、ヒップホップダンス）は小中学校の授業に取り入れるほどになっており、青少年世代に絶大な人気を博しています。そうした踊りが忠生センターまつりのように登場すると従来のイメージとは、参加世代が一新するのではないのでしょうか。

幼稚園や保育園児の出演では観客席が満杯になる

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田発技術を駆使使用した水耕栽培メロン 全国に広がる産地を結集、まずは日本一を決める

町田市議会の無所属会派は、政党に所属しない議員3名で構成し、明快な議論を提起します。

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(支持政党なしの方々の代表)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、第
57期生が先行スタート。

スパイラルインナーMiGUの紹介 NEWS①

東京ビックサイトで見学したのですが、最大の目的は東京都産技研センターを中心としたエリアでした。その一角にファッション関係のブースがあり、そこに、商品名「スパイラルインナーMiGU」の展示場所が配置されていました。ボディに着せた製品と、パッケージに入った商品があり、多くの人に関心を持っていただきたーいと思いました。この「スパイラルインナーMiGU」は、ユニバーサルファッション協会(柳原美紗子理事長、吉田は理事の一員)がその研究部会で長年開発に取り組んできたもので、このたび製品化できたものでした。

無縫製ニット Spiral MiGU スパイラルミグのコンセプトは、包帯のように斜めに肌に沿いフィットするウェアです。ニットを斜行させる事で縦横だけでなくバイアス方向の伸縮性も実現しました。シャリ感が特徴の綿100%の強撚糸に縮絨(ソーピング)を強くかけ、肌触りの良いプレミアムな風合いに仕上げました。ホールガーメント(無縫製)で作成している為、縫い目が無く、着るときも脱ぐときも着ているときも、ストレスフリーな着心地です。ユニバーサルデザインを採用し、肩を上げづらい方も楽に着脱いただけます。フリーサイで女性のSSからLLまで対応できる製品となっています。



インターン体験記③ 古閑 永都

講義Ⅲ職業としての政治家(議員)について

今回のインターンでは職業としての政治家、という題に沿って講義を受けました。今般は「御用聞き政治家」について見解を述べさせていただきます。選挙の候補者は当選に至るまでに様々な公約を掲げ、票集めに奔走します。当選後は立法(条例)や政策づくりなどが政治家としての仕事として広く認識されており、2期目以降の当落はその成果を基に判断されます。しかし近年はこの他に「住民の声を聴く」ことに注力している議員が増えているそうです。具体的には保育園や特養(特別養護老人ホーム)の受け入れ先を探す、各種手続きのサポート、困りごとを直接役所に取り次ぐ、などが挙げられ、彼らを「御用聞き政治家」などと呼びます。これらに先ず挙げられる特長としては自身の信頼を得られることでしょう。



私立高校生 古閑 永都(第57期生)

身近で頼れる存在は確固たる支持に繋がります。他にも市民の声が反映しやすい、障がい者やひとり親家庭など窓口での手続きが難しい市民への支援になるなど長所が多くある一方で、相談件数が増え過ぎると捌き切れずに本来の業務が後手に回る、議員を介すことによって公平性が保たれなくなる恐れがある、など立場として不安定な側面もあります。彼らには御用聞きと本来の業務とのバランスを考え、適切に保つ為に自身で明確な線引きを行った上で臨むことが求められるのではないのでしょうか。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2025年10月末までに115名が参加しています。

◎57期生として、私立高校2年生の「古閑永都」さんのインターン研修が先行スタートしましたが、この研修では政治家や議員はどういうものか、どのような役割を果たし、課題に取り組むかを講義しています。

*次期のインターンシップは、2026年春季第57期の受け入れで照会中です。